

重点目標⑦「健康寿命」 政策評価

「健康寿命」 日常生活動作が自立している（介護保険の要介護度1以下）期間の平均	年		基準値 (2013※)	最新値 (2020※)	目標値
	実績値	男性	79.80 1位	81.1 2位	全国 1位
	女性	84.32 1位	85.2 1位		

※出典 2013年：厚生労働省科学研究班調査、2020年：国民健康保険中央会調査

(目標値の考え)

「長生き」から「健康で長生き」の実現を目指し、全国1位の維持を目標とした。

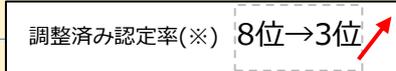
(2013→2020) トレンド 改善(↑)・悪化(↓)・変化なし(→)の傾向



(重点政策・主な施策)

① 要介護の状況

(2013→2020)



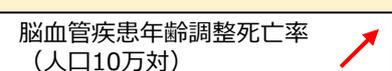
※第1号被保険者の男女比及び年齢別人口構成比を全国平均に調整した場合の認定率

4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援
・保健活動の推進

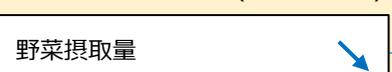
4-3 医療・介護提供体制の充実
・地域包括ケア体制の確立

② 健康づくりの状況

(2010→2015)



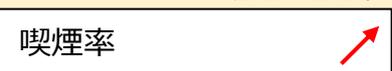
(2016→2019)



(2016→2019)



(2013→2019)



(2013→2019)



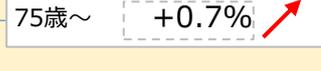
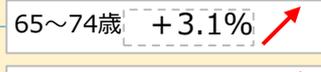
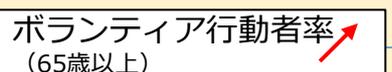
4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援
・信州ACE(エース)プロジェクトの新展開

4-3 医療・介護提供体制の充実

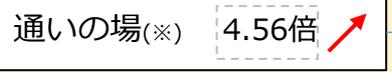
- ・ニーズに応える医療の提供
- ・医療従事者の養成・確保
- ・心と身体の健康を守る疾病対策の推進
- ・地域包括ケア体制の確立

③ 社会参加の状況

(2011→2016)



(2013→2020)



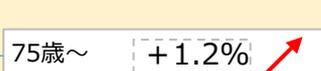
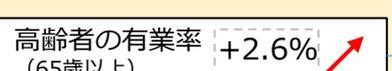
※住民が運営主体となり、体操や趣味活動等を行い、介護予防に資すると市町村が判断する場のこと。

5-3 人生二毛作社会の実現

- ・シニア世代が経験や知識を活かして活躍できる社会づくり

④ 就業の状況

(2012→2017)

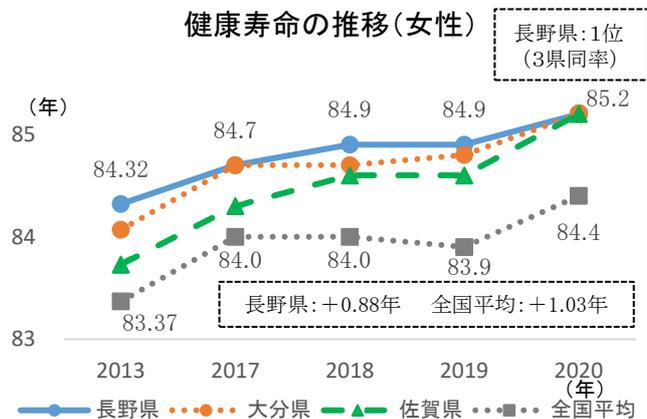
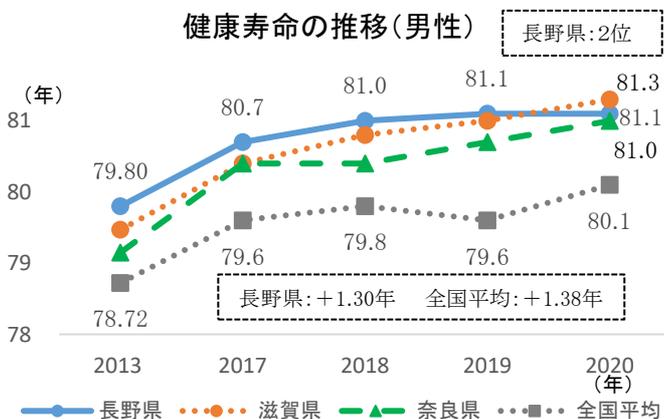


5-3 人生二毛作社会の実現

- ・シニア世代が経験や知識を活かして活躍できる社会づくり

重点目標⑦「健康寿命」 政策評価

- 健康寿命は、女性は目標である全国1位を維持しています。男性は全国トップレベルを維持しているものの、前年から順位を下げ、全国2位となっています。2013年に比べ、男性は約1.3年(2013年:79.80→2020年:81.1)、女性は約0.9年(2013年:84.32→2020年:85.2)伸びています。
- 健康寿命の伸び幅は男女ともに2013年から伸びているものの、全国平均を下回っています。また、平均寿命と健康寿命の差である「不健康期間」は2013年から男性は縮小しているものの、女性は拡大しています。健康寿命をさらに延ばすため、信州ACE(エース)プロジェクトの推進や介護予防、住民に寄り添った活発な地域医療活動、高齢者の社会参加の促進など、取組の強化が必要です。

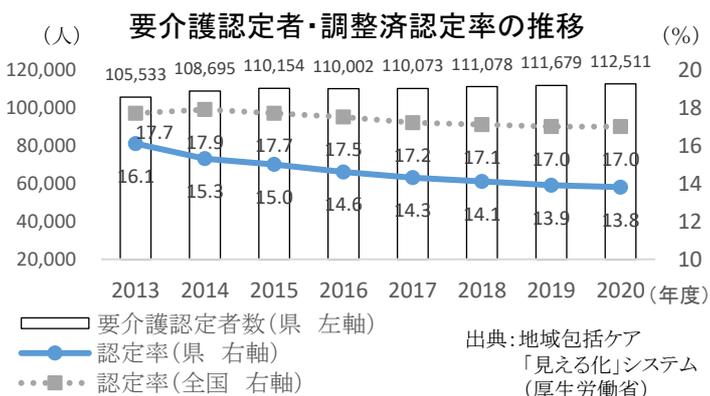


性別	2013	2017	2018	2019	2020
男性	79.80	80.7	81.0	81.1	81.1
女性	84.32	84.7	84.9	84.9	85.2
平均寿命	81.53	82.24	82.64	82.75	82.65
健康寿命	79.80	80.7	81.0	81.1	81.1
不健康期間	1.73	1.54	1.64	1.65	1.55

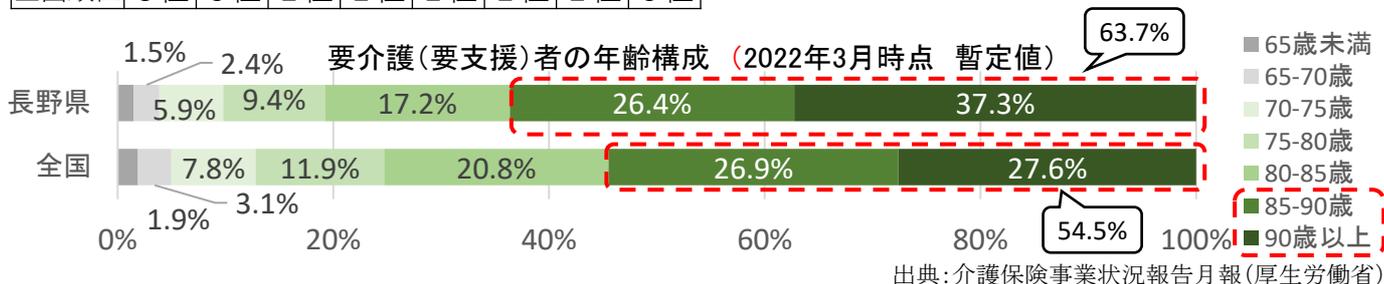
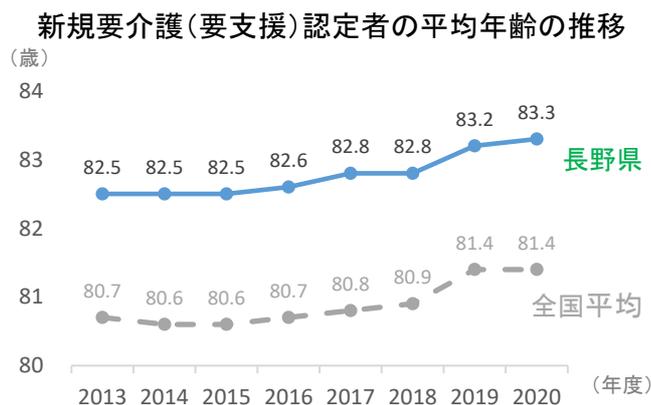
※平均寿命:0歳の平均余命=平均してあと何年生きられるかの期待値

出典:長野県簡易生命表(健康福祉部)

- 健康寿命の関連指標である調整済み要介護認定率は、2013年に比べ2.3ポイント低下(2013年16.1%→2020年:13.8%)し、全国順位は低い方から3位となっています(全国2013年:17.7%→2020年:17.0%)。
- 新規要介護(要支援)認定者の平均年齢は全国平均と比べて高くなっています。また要介護(要支援)者のうち、85歳以上が占める割合は本県では6割超です。一方、全国平均では5割超にとどまっており、本県は全国と比べ、高齢になるまで要介護(要支援)者になりにくい傾向と言えます。



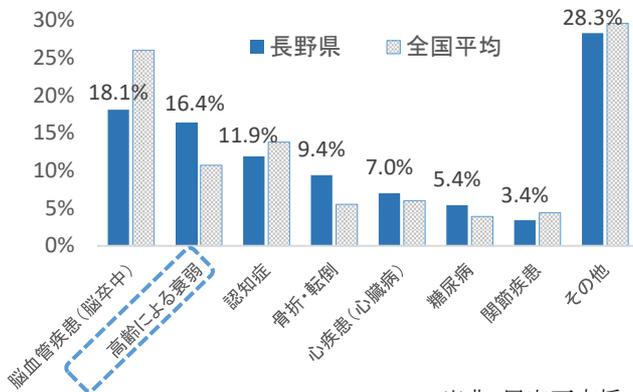
年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
全国順位	8位	3位	2位	2位	2位	2位	2位	3位



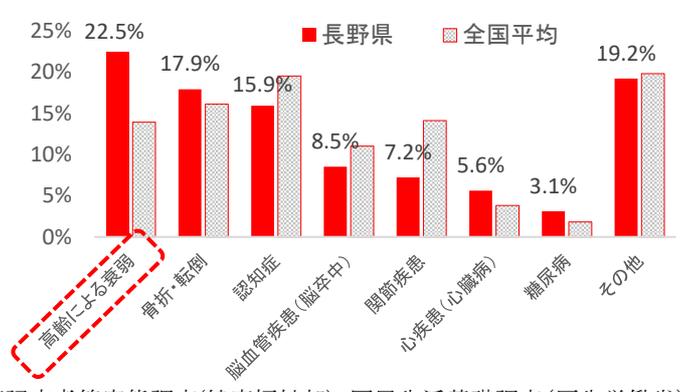
重点目標⑦「健康寿命」 政策評価

- 要介護になった主要因は、男性は「脳血管疾患(脳卒中)」の割合が最も高く、次いで「高齢による衰弱」が高くなっています。女性は「高齢による衰弱」の割合が最も高く、次いで「骨折・転倒」が高くなっています。
- 男女ともに、全国と比べて「高齢による衰弱」の割合が高いことから、特定の疾病が原因で介護に至るケースが少ないと評価でき、健康づくり等の取組の成果と考えられます。

要介護になった主要因（男性 2019年度）



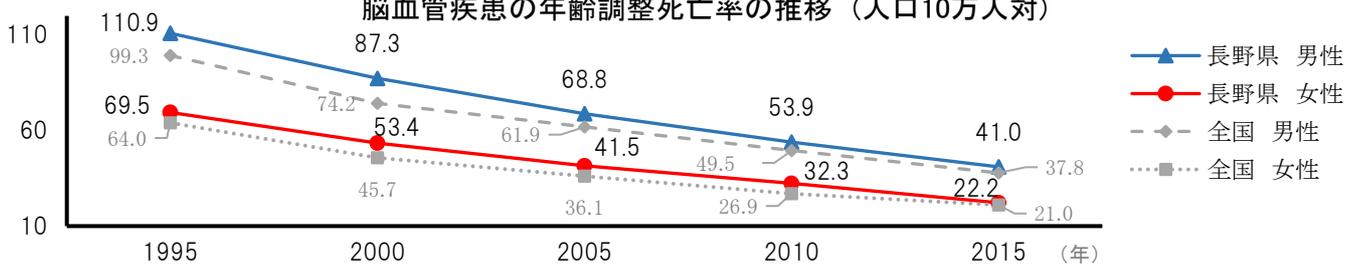
要介護になった主要因（女性 2019年度）



出典: 居宅要支援・要介護認定者等実態調査(健康福祉部)、国民生活基礎調査(厚生労働省)

- 長野県の脳血管疾患年齢調整死亡率は下降傾向ですが、男女ともに全国より高い割合で推移しています。世代別では、65～69歳の男女、働き盛り世代にあたる35～39歳、45～49歳の男性は全国よりも年齢調整死亡率が高く、若い世代からの健康づくり、発症予防の取組が必要です。

脳血管疾患の年齢調整死亡率の推移（人口10万人対）



出典: 人口動態統計特殊報告(厚生労働省)

脳血管疾患年齢調整死亡率(2015年)

【男性】	年齢						
	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳
長野県	7.7	10.3	26.0	24.7	36.3	61.8	106.6
全国	5.0	11.5	19.2	29.1	41.6	61.8	89.5

【女性】	年齢						
	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳
長野県	-	4.1	6.1	7.9	7.9	25.0	43.1
全国	2.5	5.3	8.7	13.1	16.2	24.3	35.3

出典: 平成27年都道府県別年齢調整死亡率(人口動態統計特殊報告)(厚生労働省)

- 野菜摂取量は男女ともに全国1位(2016年時点)ですが、摂取量自体は減少傾向です。(男性△52.0g 2016年:352.0g→2019年:300.0g、女性△42.3g 2016年:335.3g→2019年:293.0g)
- 要介護に至る主原因のひとつである脳卒中のリスクを高める食塩摂取量は減少しているものの、依然として摂取量は多い状況です。(男性△0.5g 2016年:11.8g→2019年:11.3g、女性△0.3g 2016年:10.1g→2019年:9.8g)

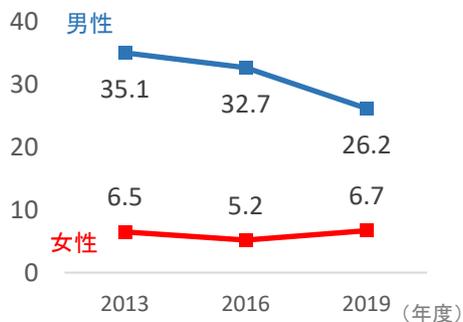
	野菜				食塩			
	男性		女性		男性		女性	
	2016年	2019年	2016年	2019年	2016年	2019年	2016年	2019年
長野県	352.0g	300.0g	335.3g	293.0g	11.8g	11.3g	10.1g	9.8g
全国平均	284.2g	-	270.0g	-	10.8g	-	9.2g	-

出典: 国民健康・栄養調査(厚生労働省)、県民健康・栄養調査(長野県)

重点目標⑦「健康寿命」 政策評価

- 喫煙率は、男性は減少傾向である一方、女性は下げ止まり・微増の傾向が見られます。
- 要介護とならないための取組のうち、特定健診受診率は、最近6年間で8.9ポイント改善(2013年51.3%→2019年:60.2%)しています。
- 特定健康診査の受診率は全国と同様に毎年上昇しており、全国順位は上位を維持していますが、更なる受診率向上に向け、対象者の行動変容につながる取組が必要です。

(%) 長野県の喫煙率の推移



出典: 県民健康・栄養調査(長野県)

特定健康診査の受診率 推移

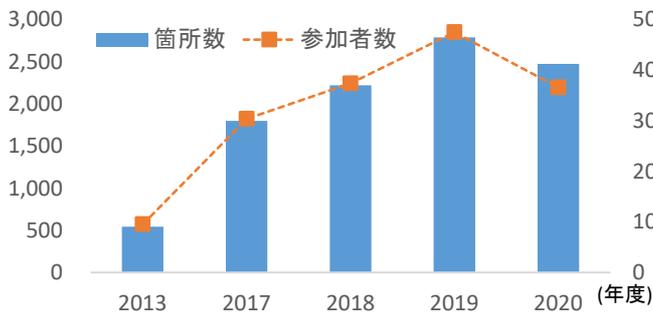


出典: 特定健診・特定保健指導の実施状況(厚生労働省)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
全国順位	8位	8位	7位	6位	6位	7位	8位

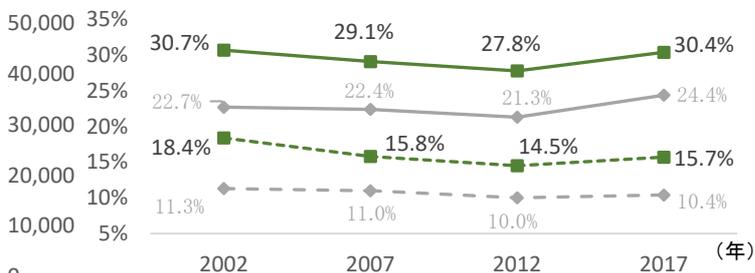
- 通いの場の箇所数、参加者数は増加傾向です。(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少。)
- 高齢者の有業率は、65歳以上、75歳以上ともに全国1位となっています。
- 以上から、本県では高齢者の有業率が高く、社会参加する高齢者も増加傾向にあるものの、コロナ禍で停滞した社会参加を再開させるための取組が必要です。

(箇所) 住民主体の通いの場の展開状況 推移



出典: 介護予防・日常生活支援総合事業報告(厚生労働省)

長野県における高齢者の有業率 推移



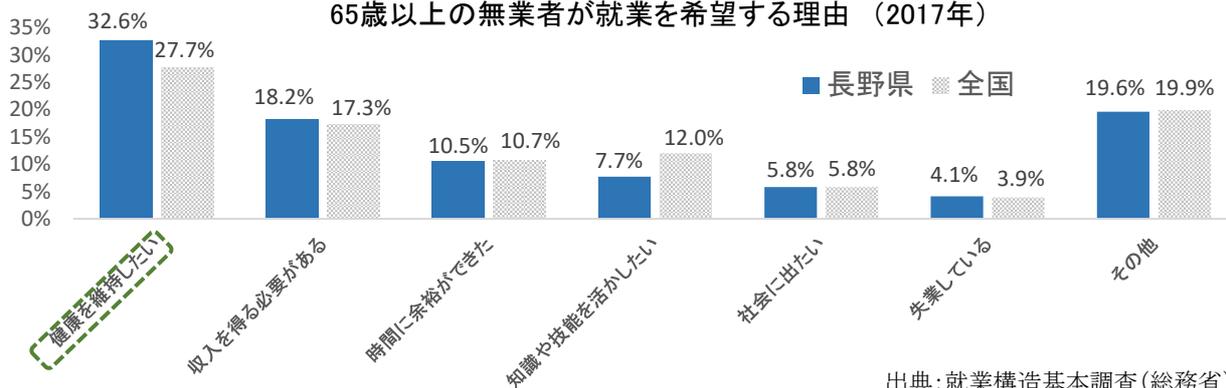
出典: 就業構造基本調査(総務省)

年度	2013	2017	2018	2019	2020
箇所数	542	1,798	2,219	2,788	2,474
参加者数	9,528	30,352	37,366	47,480	36,557

年齢区分/年	2002	2007	2012	2017
65歳以上	全国1位	全国1位	全国1位	全国1位
75歳以上	全国1位	全国2位	全国2位	全国1位

- 65歳以上の無業者が就業を希望する理由は「健康を維持したい」が最も多く、全国平均を上回っており、健康維持に対する意識がうかがえます。

65歳以上の無業者が就業を希望する理由 (2017年)



出典: 就業構造基本調査(総務省)